



**私たちはかかりつけ薬局として
地域に根ざした保険薬局です**



**一般社団法人
ファルマネット山形
ひまわり薬局グループ**





代表理事 理事長 菅井 祐子

超少子高齢社会の到来が言われ、医薬分業の風が吹き始めた1993年春、山形県酒田市に「有限会社ファルマやまがた」が誕生し、「ひまわり薬局」「鶴岡ひまわり薬局」「大山ひまわり薬局」を展開しました。

更に2018年「一般社団法人ファルマネット山形」を立ち上げて保険薬局業務を移管し、「健康サポート薬局」の認可も受けて、名実ともに非営利協同の組織となりました。

これによって加盟する全日本民主医療連合会の掲げる「いのちは平等である」の理念のもと、ますます地域に根ざしたかかりつけ薬剤師・薬局となり、在宅など多職種と連携し、患者様のみならず、地域住民の方々の健康に貢献できるよう歩みを進めています。

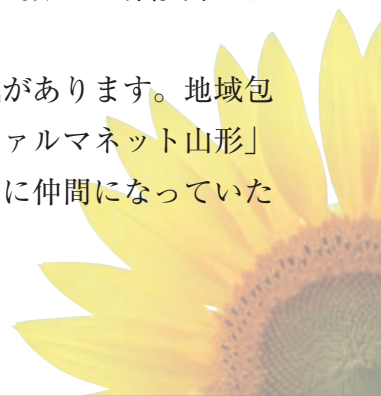
庄内地方は、2018年に地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」が発足し、基幹病院から個人医院、歯科医院、福祉施設、調剤薬局に至るまで、職種、法人の枠を超えた地域医療の連携が始まっています。

その中で、ポリファーマシー関連の「地域フォーミュラリー」やお薬情報の「調剤情報共有システム」の構築に参加し、地域医療のなかでも活発に活動しています。

当法人では薬学を学ぶ方をサポートするため独自の奨学金制度を設けています。また、入局してからの3年間で初期研修と位置付け、先輩薬剤師と共に研修プログラムを進めていく体制をとっていますので無理なく業務習得ができます。

業務においては、正確で迅速、安全な業務を行うためにICT化は勿論、最新機器を導入する社風、それとともに日々進化していく医療について薬剤師としての学びの心、レベルアップを目指すための認定薬剤師取得やeラーニング受講、数々の研修会や、学術大会参加へのバックアップ体制も充実しています。

一人の患者様への服薬指導の先には、その方を取り巻く環境、地域があります。地域包括システムで薬剤師の職能発揮が求められる中、私達「一般社団法人ファルマネット山形」一同は、薬剤師として高い志と希望を持ち、広い視野で活動できる方に仲間になっていただきたいと思います。



年間行事



全日本民医連 新卒薬剤師初年度研修(5月)



高校生薬剤師体験(8月)



山形県民医連学術運動交流集会(9月)

1月	仕事始め 新年会
2月	山形県民医連共済「冬の交流会」IN 蔵王
3月	高校生薬剤師体験学習会(酒田地区・鶴岡地区) 山形県薬学大会
4月	ファルマネット山形 入社式 大学就職企業説明会
5月	全日本民医連 新卒薬剤師初年度研修 山形県民医連定期総会(2年に1度) 日本老年薬学会学術大会
6月	山形県民医連薬剤師部会総会 ファルマネット山形 全体職員研修会
7月	山形県民医連新人職員研修会 日本在宅薬学会学術大会 ピアガーデン
8月	高校生薬剤師体験学習会(酒田地区・鶴岡地区) ファルマネット山形の奨学生のつどい 北海道東北地協薬学生 夏のつどい 薬学生 薬局見学受入(夏休み期間中希望により) 薬害根絶デー全日本民医連のつどい
9月	山形県民医連学術運動交流集会(2年に1度) 日本くすりと糖尿病学会学術大会
10月	日本薬剤師会学術大会 中学生職場体験学習の受入 日本腎臓病薬物療法学会学術集会
11月	定時社員総会 北海道東北地協薬剤師・保険薬局事務交流集会(2年に1度)
12月	忘年会 仕事納め



高校生薬剤師体験(3月)



ファルマやまがた奨学生のつどい(8月)



北海道東北地協薬剤師・保険薬局事務交流集会(11月)

年表

1993年(平成5年)	6月15日	有限会社ファルマやまがた設立
1994年(平成6年)	1月3日	ひまわり薬局開局
1998年(平成10年)	9月1日	鶴岡ひまわり薬局開局
1999年(平成11年)	12月1日	大山ひまわり薬局開局
2006年(平成18年)	3月1日	なかまち薬局開局(2009年閉局)
2009年(平成21年)	11月24日	ひまわり薬局(なかまち薬局統合)移転
2011年(平成23年)	9月5日	鶴岡ひまわり薬局新築移転
2011年(平成23年)	12月1日	鶴岡ひまわり薬局福祉用具貸与販売住宅改修事業開始 (2014年事業終了)
2018年(平成30年)	1月29日	一般社団法人ファルマネット山形設立
2018年(平成30年)	6月1日	一般社団法人ファルマネット山形へ薬局事業・介護事業移管

一般社団法人設立の意義

私たち一般社団法人ファルマネット山形は、2018年1月に設立し、同年6月に有限会社ファルマやまがたの薬局事業・介護事業を受け継いでいます。それまで前法人が積み上げてきた歴史は、共同の営みとして地域の方々に支えられ、信頼されてきた歴史でもあります。私たちはこの歴史を受け継ぎ、さらに発展させていく使命を帯びています。

かつて薬局は営利法人の形態である株式会社や有限会社を選択せざるを得ませんでしたが、2008年に公益法人制度の改正によって、一般社団法人の選択が可能となりました。

ファルマネット山形が一般社団法人を選択したのは、非営利法人であり、私たちの理念を実現する為に、最も適した法人形態であると考えたからです。

私たちがめざす理念に基づき、これからも地域の方々と共に、医療機関・福祉施設などと連携しながら、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。



本社ひまわり薬局



1994年(平成6年)1月開局
山形県酒田市中町3丁目7番1号
TEL.0234-22-2662



健康サポート薬局

健康サポート薬局とは、厚生労働大臣が定める一定基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる薬局のことで、皆さんの健康をより幅広く、積極的にサポートします。

私たちの 宣言

患者さんに信頼され、 患者さんの立場にたった保険薬局

- 1 私たちは、知識・技術の向上に努め、副作用や薬害も学び、より信頼される薬局を目指します。
- 2 患者さんの声に耳を傾け、患者さんの気持ちになって接することができる親切・ていねいな薬局を目指します。
- 3 いつも気持ちの良いあいさつと笑顔を忘れず、明るくさわやかな対応を心がけます。

健康維持・増進に多くの視点からサポートする 事を目指し、信頼され立ち寄りやすい薬局へ

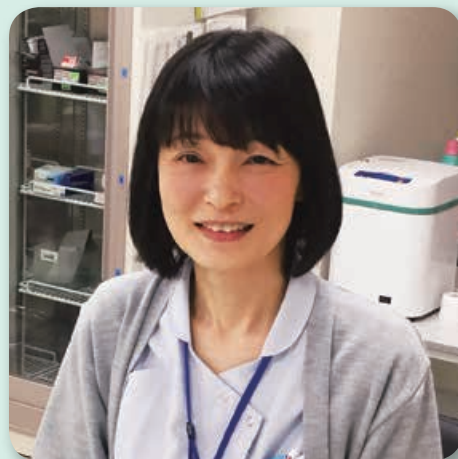
本社ひまわり薬局 薬局長

小松 ルミ Rumi Komatsu

ひまわり薬局では薬剤師が薬の専門家として皆様の期待に沿えるよう、最新機器を導入し迅速かつ正確な調剤業務と医療事故防止の徹底を図るため環境を整えております。処方された薬について体調や飲み方など患者様と一緒に確認しながらお渡ししております。

厚生労働大臣が定める一定基準を満たしている薬局として「健康サポート薬局」に認定されました。かかりつけ薬剤師・薬局の体制を整え市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護、食事、栄養摂取などに関することを気軽に相談ができ健康維持・増進を積極的に支援する機能を備えた薬局です。また、医療機関、行政などと連携を取り地域住民の皆様の健康を多くの視点からサポートする事を目指します。

これからも地域の皆様の健康に幅広く寄与し信頼され立ち寄りやすい薬局を目指していきたいと思っております。



薬剤の監査



全自動錠剤分包機



在宅訪問での
薬剤のセット



在宅訪問での
服薬指導



散剤の調剤





鶴岡ひまわり薬局



1998年(平成10年) 9月開局
山形県鶴岡市日枝字海老島161番2号
TEL.0235-28-3500

私たちの 宣言

地域と共に育つ薬局

- 1 知識・技術の向上に努め、安心してかかる薬局**
私たちは、医療事業者として常に向上心を持ち、新しい知識をたくわえ正確な情報を認識し、感性を磨き、知識・技術のレベルアップに努め、患者様に信頼される薬局を目指します。
- 2 親切、丁寧な接遇と、医療サービスの充実**
私たちは患者様の声に耳を傾け、患者様の要望に応えられる薬局を目指し、ていねいでわかりやすい服薬指導に努めます。
- 3 事業の効率化による、安心・安全の調剤業務**
私たちは、医療品に関する情報収集、提供を積極的に行い、新しい情報を処理し、患者様と共有し、「安心・安全の調剤業務に努め、少しでも早く正確なお薬を渡すことができるよう職員一人ひとりが自覚を持って行動します。
- 4 いつでも笑顔で明るい職場**
私たちは、いつでもさわやかな笑顔を心がけ、お互いを思いやり、気持ちよく働ける明るい薬局を目指します。
- 5 地域との連携ができる薬局**
私たちは、医療福祉制度をよくするために患者様や地域の人々とともに力を合わせます。

安心して立ち寄ることができる身近な存在へ。 そして地域へ還元できる薬局として。

鶴岡ひまわり薬局薬局長
大山ひまわり薬局薬局長

佐藤 祥子 Shoko Sato

私たちの薬局は毎日多くの患者様にご利用いただいております。患者様が安心して服薬できるように最新の機器を完備導入しつつ、最新の知識や情報を習得することは基本であり重要なことですが、患者様とのコミュニケーション力も同じように大事にしています。また地域医療への貢献のため、健康サポート薬局として健康相談会の開催や在宅医療にも力を入れて取り組んでいます。

今後も安心して立ち寄りやすい身近な存在として、多職種の医療スタッフの方々や行政と連携をとりながら、地域住民の相談窓口としてかかりつけ薬局薬剤師を努めていただきます。



無菌製剤の調剤



最新鋭の機器や設備が揃った職場でスタッフが集中して業務にあたっています。

水剤の調剤



散剤の調剤



錠剤一包化監査システム



外来での患者様への服薬指導



大山ひまわり薬局

1999年(平成11年) 12月開局
山形県鶴岡市大山2丁目25番35号
TEL.0235-38-1315

私たちの 宣言

地域にやさしい薬局



- 1 医療事業者として常に知識・技術のレベルアップに努め、患者様に信頼される薬局を目指します。
- 2 患者様の声に耳を傾け、患者様が気軽に何でも相談できる薬局を目指します。
- 3 早く正確にお薬を渡すことができるよう、安心・安全の調剤業務に努め、職員一人ひとりが自覚を持って最善を尽くします。
- 4 在宅・福祉の分野にも力を入れ、地域医療との連携をはかり、身近なかかりつけ薬局となるよう、地域に根ざした活動をしていきます。

ファルマネット山形初期研修プログラム

1 新卒薬剤師初期研修計画

初期研修期間：1年～3年次までとし、年次ごとに大まかな目標を持つ。1年次の最初の6ヶ月を【基本研修】と位置付ける。

初期研修場所：ファルマネット山形 各薬局

初期研修計画：

	目 標	具体的な課題
一年次	1. ファルマネット山形の理念を学び、各薬局の「わたしたちの宣言」を理解する。 2. 「民医連」の基本的な考え方を学ぶ。 3. 日常の業務を習得する。 4. 薬についての基本的な知識を習得する。 5. 在宅医療に参加する。 6. 保険薬局に必要な医療保険、診療報酬について学習する。 7. 薬剤師綱領の元、自己研鑽に励み、年間5単位、3年間で40単位以上を取得し、4年目には研修認定薬剤師となって、かかりつけ薬剤師を目指す。	○9月末までに1年次基本研修に沿って、研修する。 ○「民医連新聞」「いつでも元気」を読む。 ○民医連の薬剤師として、新人研修や薬害根絶デーに参加する。 ○研修会や学習会には積極的に参加する。 ○9月から遅番に入る。
二年次	1. 薬局で自分の担当部門を受け持つ。 2. 自己学習に取組み、症例発表する。 3. 在宅医療で担当患者を受け持つ。 4. 後輩の指導や実習生の面倒をみる。 5. ファルマネット山形内の他店舗で研修を行う。	○薬局内の仕事の担当を受け持つ。 ○在宅担当者になり、地域・合同カンファレンスなど担当者会議に参加する。 ○「在宅医療」「介護保険」などについて学ぶ。
三年次	1. 研究課題に取組み、外部の研究発表会で発表する。 2. 病院で研修し、薬業連携を学ぶ。 3. 研修認定薬剤師になるために研修単位を40単位以上取得する。	○学会や薬剤師会の研究発表会で発表者になる。

2 基本研修

(1) 一年次基本研修

新卒薬剤師は、入社から6ヶ月間を一年次基本研修期間とする。大学で学んだ学問・知識を業務に活かし、調剤や服薬指導など基本的業務を習得する。また社会人としてのマナーや医療人としての素養を身に付ける。スタッフ間はもちろん、患者様の多くは人生の先輩方ですので、患者様一人ひとりに合わせたコミュニケーションのとり方を実践的にも確立していく。

基本研修期間：4月～9月

研修内容：①調剤全般に関わるものを基本研修として計画する。習得状況については、その都度、評価していく。

(調剤、疑義照会、監査、窓口、入力、会計、OTC)

②基本研修に沿って、基本的な知識を研修する。

到達目標：①8月からローテーションに入り9月から遅番に入る。

②日常業務を進めるための基礎知識・技術を身に付ける。

③ファルマネット山形の一員としての自覚を持ち、社会人としての責任を持つ。

④民医連が取り組む医療と運動について理解する。

⑤薬歴や社会的背景を踏まえて患者一人ひとりに合わせて服薬指導を行う。

(2) 二年次研修

2年目の課題は、1年目で身に付けた技術をさらに向上させ、1年目で不十分だった課題を克服する。また、新しく入ってくる新人や実務実習生への指導の手助けを心がける。

到達目標：①医療人としての薬剤師に求められる基本的力量を蓄積させる。

②薬局の中で一つの責任のある業務を受け持つ。

③新人や実習生の面倒を見ることで自分への成長に繋げる。

④服薬指導において患者のQOL向上させ、必要な情報提供は何かを判断する。

⑤多くの症例に積極的に取り組み、症例検討を行う。

⑥在宅医療に参加する。

(3) 三年次研修

3年目の課題は、広く薬事衛生を司る専門職として、その職能を発揮し、患者様の健康増進に寄与する薬剤師となる。生涯にわたり高い知識と技術の水準を維持するように自己研鑽に励む。

到達目標：①調剤、在宅業務の主体者となる。

②研究課題に取り組み、外部の研究発表会で発表する。

当社では、薬剤師をめざす方の
学費・生活費をサポートするため、
独自の[奨学金制度]を設けております。

[奨学金制度の概要]

○奨学金の種類

- 1.普通奨学金・・・貸与額 月5万円
- 2.特別奨学金・・・月5万円までの希望する額を貸与(1.の普通奨学金の上乗せ貸与)

○返済方法

- 1.普通奨学金・・・貸与月以上勤務した時は返還が全額免除されます。
- 2.特別奨学金・・・毎月給与天引きで返還していただきます。(利息は免除)

○貸与の条件

大学卒業後、薬剤師として当社で勤務すること。

○応募できる方

薬学部合格し入学予定の方
現在薬学部在籍し、薬剤師資格試験を受験できるコースの方。

○お問い合わせ先

ファルマネット山形
TEL：0234-22-2662
FAX：0234-26-2811
Email：sakata@himawari-y.co.jp
<http://www.himawari-y.co.jp/>

○薬局電話番号

本社ひまわり薬局 TEL：0234-22-2662
鶴岡ひまわり薬局 TEL：0235-28-3500
大山ひまわり薬局 TEL：0235-38-1315



法人概要

事業種目	【保険調剤】健康保険法、国民健康保険法に基づき医療機関が発行する処方せんによる調剤、服薬指導および薬歴管理など 【小売事業】一般薬、衛生材料などの販売 【分譲事業】他の保険薬局への保健薬の小分け分譲
代表者	菅井 祐子（薬剤師・代表理事 理事長）
施設一覧	【本社・ひまわり薬局】1994年01月開業 山形県酒田市中町3丁目7番1号 【鶴岡ひまわり薬局】1998年09月開業 山形県鶴岡市日枝字海老島161番2号 【大山ひまわり薬局】1999年12月開業 山形県鶴岡市大山2丁目25番35号 【なかまち薬局】 2006年03月開業2009年11月ひまわり薬局と統合
従業員数	56名(うち薬剤師22名)

奨学金制度について



元奨学生で現在ひまわり薬局勤務の薬剤師より

私は6年間ファルマネット山形の奨学生としてお世話になりました。学費が高く仕送りだけでは困難な私立大学でも普通奨学金、特別奨学金の2つを借りることができました。また、普通奨学金は借りた年数を働けば返納が免除になるので非常に助かっております。



年に1回行われる奨学生のつどいでは早くから調剤業務の見学や体験ができ、現場の雰囲気を感じることができます。また、他の奨学生や先輩薬剤師の方々との交流もあるのでどのような薬剤師になりたいのかイメージすることができ、今後のモチベーションにつながると思います。

今は、先輩薬剤師の方々にご指導していただきながら、一人前の薬剤師を目指して業務を頑張っております。多くの患者様がいらっしゃるので忙しい毎日が続いておりますが、これからは奨学生としてお世話になった分、地域の方々と患者様、そして会社へ貢献できるように努力して参りたいと思います。

ひまわり薬局
薬剤師 佐藤 蘭

ひまわり薬局で奨学金を借りた事で、実際に仕事をしている様子を見学する事ができ、将来像がより具体的なものになったと思います。また、忙しい就職活動もないので、国家試験の勉強に専念できる事は大きなメリットだと思います。
Y・Mさん

奨学金を借りることで大学に通うことができていたのでとても感謝しています。また、この関わりによって同じ薬学部で学んでいる方々と交流の機会も増えるため良い経験になっています。
K・Kさん

私は現在、経済面での心配はせずに勉強やサークル、課外活動などの大学生活に専念できています。充実した大学生活を送ることができているのは、奨学金制度のおかげです。現在、経済面で支えていただいているので薬剤師の資格を取り、卒業したらぜひファルマネット山形さんに貢献したいと思います。患者様に寄り添える薬剤師になれるよう、日々努力していきたいです。
A・Wさん

薬学部は、6年制の学部で、他の大学よりも学費も多くかかります。さらに、勉強も難しく、時間が限られているなど感じます。時間が限られている分、バイトをするのも難しいです。でも友達と遊びたい、など、そんな時にとても助けられています。奨学金の制度は、私に余裕を与えてくれ、おかげで楽しい大学生活を送れていると思います。大学生活を有意義にするために奨学金は、とてもありがたい制度だなと思います。私ももっと勉強を頑張り、無事に薬剤師になれるように頑張りたいです！
R・Sさん

こちらの奨学金制度のおかげで、金銭的な事情に縛られずに、自分の一番したかった勉強が自由にできており、とても感謝しております。また、奨学金制度を利用していることで気持ちも引き締め、モチベーションの維持に役立っております。これからも宜しくお願いします。
S・Sさん

薬学部は、6年通うということもありやはり多額のお金が必要になってしまうので、お金のことを考えると進みにくい学部でした。しかし、立派な薬剤師になって家族に恩返しをしたいと思ったので、どうしても薬学部に進みたい思いがありました。そんなとき、こちらの奨学金制度を知り、もし奨学金を借りることが出来たら、薬学部に行くことも可能だと感じ、とてもありがたいお話だと思いました。また、将来は地元に戻って仕事をしたいと思っていたので、ひまわり薬局さんで働いて、借りたお金を返していくことができるのはとても自分に合っていると思いました。私はまだ薬学部2年生で、これからもっと勉強が専門的で難しくなっていくので、油断せずこつこつ努力し、ストレートで国家試験に受かりたいと思います。そして、お世話になった方々への恩を忘れず、薬剤師になって地元へ貢献したいです。
M・Oさん

奨学金制度を利用し、良かったと思うことは同じ夢を持った人たちとの繋がりが作れたことです。夏の奨学生のつどいで先輩方の話の中でどのように勉強していけばいいか等教えていただき、自分の中でのモチベーションに繋がっています。また、つどいで自分の知らなかった医療・福祉関係の問題に触れることができたのはとてもいい経験になりました。奨学生制度を利用できて良かったです。
A・Wさん

奨学金制度のおかげで、金銭面で余裕のある学生生活を送れているのに加え、他の大学の薬学部の先輩の話を知ることができるので、視野が広がります。また、奨学生の集いで現場の薬剤師を知れることや予め薬局周辺の施設、それに伴う処方箋の偏りを知れるため、将来の準備に繋がると感じています。
M・Kさん

私立大学の学費は高額です。特に薬学部は6年制のため大学受験を諦めようと思ったこともありましたが、私が大学に通っているのは、奨学金制度があるのおかげです。奨学金制度を利用させていただくことで、無理にアルバイトをすることもなく勉強に集中でき、感謝しています。
R・Dさん

勤務・待遇

勤務時間	平日、土曜(4週8休) 勤務時間7時間30分
休日	日曜日、祝日 指定休暇(6日)、年末年始休暇(5日)、有休(最大40日) リフレッシュ休暇(5日・勤務年数に応じて)
給与	当社規定により優遇 昇給年1回
賞与	年2回(夏期、冬期)
福利厚生	各種社会保険加入(健康保険・厚生年金・雇用保険) 薬剤師手当、家族手当、住宅手当、通勤手当あり。 健康診断、社員慶弔見舞金 薬剤師賠償責任保険加入 共済互助会で医療費給付制度、産休や傷病休業中の給与10割給付制度があります。 産休・育休は完全取得されています。

一般社団法人ファルマネット山形
ひまわり薬局グループ

〒998-0044 山形県酒田市中町3丁目7番1号

TEL : 0234-22-2662 FAX : 0234-22-2683

E-mail:sakara@himawari-y.co.jp ・ <http://www.himawari-y.co.jp>